

Rotary 関ロータークラブ

2020～2021年度国際ロータリーテーマ

ロータリーは機会の扉を開く Rotary Opens Opportunities

RI会長：ホルガー・クナーク

関ロータークラブ会長テーマ

志～奉仕の理想を高さ志で実践しよう

55代会長：木村 聡

「関の刃物」は700余年の歴史を誇り、「折れず、曲がらず、良く切れる」関鍛冶の伝統を受け継いでいます。

会長 木村 聡
副会長 加藤 照彦
幹事 酒向 徳享

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



本日のプログラム 第2585例会 2020年11月10日(火)

「知っている人だけ得をする！補助金の有効活用法」

侍行政書士事務所 代表 砂田達也様



前例会の記録・第2584回 10月27日(火)12:30

「災害への対応について」

中部電力パワーグリッド(株) 関営業所

所長 森真一様

◆開会点鐘

◆会長挨拶 木村聡



本日の卓話講師は中部電力パワーグリッド関営業所所長 森真一様で、「災害への対応について」というテーマでお話しをして頂きます。異常気象が常態化して災害が続く昨今、この地方のエネルギー供給の要である中部電力様の対応につ

いて是非お聞かせ頂きたいと思っております。

さてエネルギーの専門家の前で恐縮ですが、折角の関連事項ですのでエネルギーと技術について触れたいと思っております。18世紀までに人類が利用していた力というのは、「人力」・「畜力」・「風力」・「水力」の4つに限られていました。しかし産業革命により「熱力」を利用できるようになり、イギリスで起こった第一次産業革命では、石炭をエネルギー源とした蒸気機関が、続いてドイツやアメリカで起こった第二次産業革命では、石油・電気・ガスをエネルギー源とした内燃機関が大きな力をもたらしてくれました。そして現代においては核分裂を利用したエネルギー技術の実用化にまでこぎ着けています。しかし人類は、1979年アメリカ・スリーマイル島、1986年ソ連・チェルノブイリ、そして2011年東日本大震災での福島第一原子力発電所事故を起こすなど、核分裂反応に対して未だ必要十分な安全性を確保するには課題を残しています。一方で私が中学生の頃、世界の人口は40億人と覚えていたものが、約40年を経て約80億人に達しようとしており、2050年代半ばには100億人を突破すると予測されています。つまり技術の進歩で画期的な省力化をはかることができるようになるか、はたまたより大きなエネルギ

ーを得られるようになるかのいずれかが必要になるわけですが、幸いなことに、自然界では膨大なエネルギーを発生し得る現象が他にもあり、その一つが核融合反応です。太陽の内部で起こっている反応も核融合反応で、原子番号1の水素同士の原子核が融合して原子番号2のヘリウムが出来上がる反応がその代表例です。現在人間が扱える範囲の核融合反応として、二重水素と三重水素を用いた反応で得られるエネルギーは、同じ質量のウランによる核分裂反応の約4.5倍、石油を燃やして得られるエネルギーの約8,000万倍にも達するそうです。もっと高い温度で核融合を行うことができれば、更に桁外れのエネルギーが得られます。その他にも対消滅という現象もあります。物質には必ず対になる電荷が反対の符号を持つ反物質が存在します。そして物質と反物質は触れ合うと膨大なエネルギーに姿を変えて消滅してしまいます。1gの物質と1gの反物質が対消滅すると広島型原爆3個分に相当するエネルギーが生じるそうです。現在の技術ではまとまった量の反物質を作ることは難しいそうですが、ほんのわずかであれば可能で、事実医療現場でがん検査などに使用されるPETという装置では、電子と陽電子の対消滅による光エネルギーを検出して測定しているそうです。その他にもまだまだ検討されている技術はございますが、ここでは割愛させていただきます。改めて科学技術の進歩は人類にとって欠かすことができないものであります。しかし一方でこれらの技術は軍事利用など使い方を誤ると、かえって多くの人を不幸にすることにもなってしまいます。科学技術の進歩に合わせて、道徳観念も大いに進歩させないといけないわけですが、むしろこちらの方が心配な気がする今日この頃です。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 秋柄達也

会員50名中 出席22名 出席率44.00%

◎ニコボックス委員会 委員 栗倉晋吾

会長・副会長・幹事・・・本日は、中部電力パワーグリッド(株) 関営業所 所長 森真一様お忙しい中、

ようこそ関ロータリークラブにお越しくださいました。いつ来るかわからない災害についてのお話、よろしくお願ひします。

伊佐治啓司会員…昨日、IGM に出席していただいたメンバーの皆様、ありがとうございました。また、本日は、私の卓話を聞いていただくことになったクラブメンバーの皆様、お聞き苦しい話で申し訳ございません。よろしくお願ひいたします。

杉浦孝志、酒井泉、長尾一郎、堀部哲夫、林昇、三輪雄彦、塚田浩孝、西田泰幸、粟倉晋吾、秋柄達也会員の皆さん…普段、何気なく使用している電気、災害が発生してしまうと全く普通の生活ができなくなってしまいます。災害に備える方法やポイントをしっかり勉強したいと思います。本日はよろしくお願ひします。

藤井淳会員…中部電力パワーグリッド（株） 関営業所 所長 森真一様、日頃は産業医としてお世話になっており、ありがとうございます。本日は卓話の方でお世話になります。よろしくお願ひいたします。

◆「災害への対応について」

中部電力パワーグリッド（株） 関営業所
所長 森真一様



2020年4月、弊社は持株会社として「中部電力株式会社」、送配電事業を主とする「中部電力パワーグリッド株式会社」、電気販売事業・ガス事業を展開する「中部電力ミライズ株式会社」の3社

に分社いたしました。2016年4月の電力小売り全面自由化をはじめとした事業環境変化の中で、それぞれが異なる市場と真正面から向き合い、自律的に事業を遂行することで、さらにお客様の近くに寄り添い、地域・社会の発展に貢献してまいります。

さて、今年7月、岐阜県内において発生した豪雨災害では、弊社でも電柱32本（岐阜県内）が倒壊するなどの大きな被害を受けました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。複数個所で河川の氾濫や土砂崩れが発生し、被災現場に入れず状況把握に困難を要する中で効果的であったのがドローンです。ドローンの空撮映像は、復旧方針の立案、行政との調整、社外への情報発信のうえで有効でした。今後の災害時においても、ドローンは情報収集するうえでの重要な手段の一つであり、状況に応じて効果的にドローンを活用し早期の状況把握に努めてまいります。

自然災害をはじめ様々な原因で停電は発生しますが、最も多い理由は「倒木」です。特に2018年の最大21万戸（岐阜県内）が停電した台風21号襲来時は、「倒木」によるものがほとんどでした。こ

のことから停電の未然防止、早期復旧において、倒木減少策や倒木除去をいかに迅速に行うかがポイントになります。ここで欠かせない重要なキーワードが「行政等との連携」です。

未然防止策の一つとしては、岐阜県および市町村と連携して行う「岐阜県ライフライン保全対策事業」に取り組んでいます。県と市町村および電力会社が費用を負担して、計画的に電線周辺の倒木の恐れのある立木を所有者に代わって、事前に伐採する事業です。関市においては、昨年度から板取・上之保方面で実施しており今年度も継続して行う予定です。この事業は、郡上市では2015年度から実施しており、事前伐採した箇所では倒木による停電は発生していないことから、この事業の効果は一定程度あると判断し、今後も岐阜県や市と連携を図りながら、継続的に進めていくことが必要と考えております。

停電発生後の早期復旧対策では、停電理由の圧倒的割合を占める「倒木」をいかにスムーズに除去して、本来の電線・電柱工事に着手できるかがポイントとなります。そのため、停電復旧の際に支障となる倒木等の障害物除去を行政と連携して行うことを目的とした、災害時連携協定を今年3月に関市と締結させていただきました。電力設備の復旧を主とする弊社にとって、行政と「連携」して倒木等の除去を行うことは、復旧作業の迅速化により早期の道路啓開や停電復旧が期待できる有効な連携です。

次に弊社の新たなサービスをご紹介します。設定した地域に停電が発生したときにお知らせする「停電情報お知らせサービス」（無料アプリ）、防犯・防災関連機器設置場所として、弊社の鉄塔をお貸しする「鉄塔等設備貸出サービス」、電柱番号さえ分かればその場所の特定や経路が検索できる「らくモ二でんちゅう」なども展開しておりますので、ご興味のある方はお気軽にお問合せください。

最後に、災害時のお客さまへのお願いとして、不幸にして地震、台風、大雨などの災害に遭われ、自宅から他の場所へ避難するような場合には、二次災害を防ぐうえで、ブレーカーを切っていただくことをお願いしております。また、家の外で切れた電線を発見された場合には、絶対に近づかないようお願いいたします。電線が切れていても電気が流れていることがありますので、十分ご注意ください。

激甚化する災害に備え、今後も行政等と情報を共有し、連携することで円滑かつ迅速な災害復旧を目指すとともに、的確に情報を発信して地域のお客さまの安全・安心に繋げてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

◆幹事報告

◎11月の例会予定表配布

次例会のご案内 11月17日（火）12:30

「新型コロナウイルス感染症に係る

中小企業支援について」

古田貴巳会員

於：(株)新東建設 3F会議室